

展望

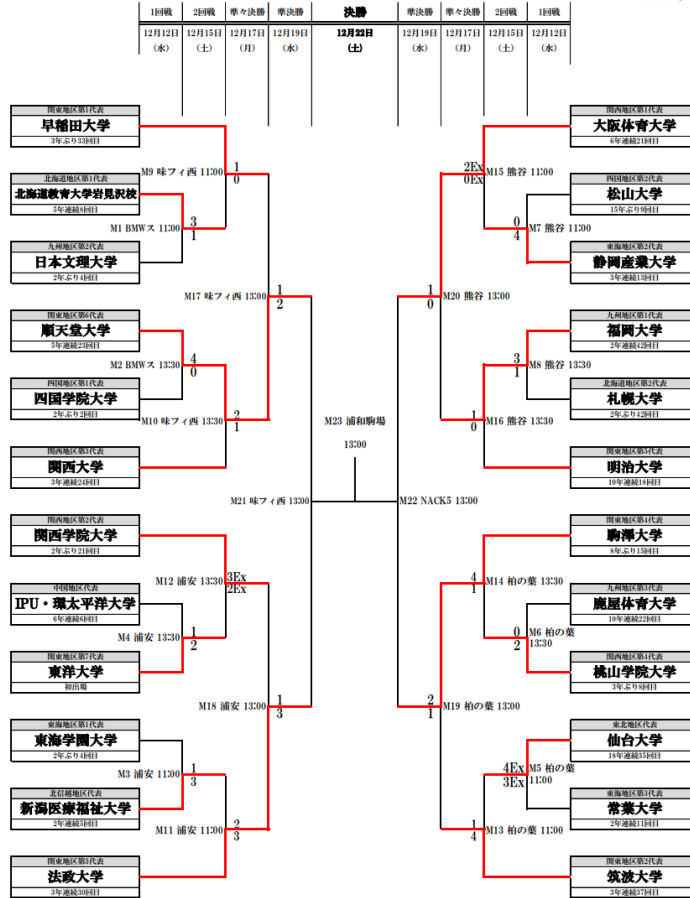
OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

No.2

発行:一般財団法人 全日本大学サッカー連盟



平成30年度 第67回全日本大学サッカー選手権大会



【決勝 12/22】Jクラブ内定者サイン会開催

関東大学サッカーリーグ戦からJリーグクラブへの来季加入が内定した選手のサイン会を開催します！

また、同イベント会場におきまして、内定者の名前と背番号入りのユニフォーム型ストラップも販売。

どなた様もご参加いただけるイベントですので奮ってご参加ください♪

未来のJリーガーたちの、貴重な大学時代のサインを逃すな！！

○日時：12月22日(土) 決勝戦(13:00KICKOFF)の終了後

○会場：浦和駒場スタジアム 場外広場

※決勝戦が延長戦に突入した場合はサイン会開始時間を繰り下げます。

※準決勝終了後にサイン会参加選手を発表します。直前に変更となる可能性もございますので、ご了承ください。

※内定者のユニフォーム型ストラップは当日のみの個数限定販売となります。

順天堂大学 vs 法政大学

12月19日(水) 13:00

文・飯嶋玲子

味フィ西

「関東リーグの順位はアテにならない」。記者会見で中野雄二・全日本大学サッカー連盟技術委員長が言い放った言葉が現実になった。ベスト4に残った関東3チームのリーグ戦での順位は、3位以下と決して高くはない。なかでも順天堂大学は6位でリーグを終え、シード権を得られずに1回戦から出場。だが、もとより実力のある選手の多いチーム。準々決勝の早稲田大学戦では無得点に終わったが、2試合連続ゴールのU-21代表FW旗手怜央(3年)に加え、鹿島内定の司令塔、MF名古屋新太郎(4年)、1年生ながら急成長を見せるMF長倉幹樹、高い技術で得点に絡むMF大谷京平(2年)らタレントには事欠かない。不安があるとしたら、ほかの大学より1試合多く戦っていることだが、「4年生のふたりが決めたことで次戦に向けて勢いに乗れた」(MF石上輝)というように、関東王者の早大のゴールを下した勢いで短期決戦をモノにしたい。

対するは昨年度準優勝校の法政大学。初戦は新潟医療福祉大学相手に苦戦を強いられたが、交代選手の起用があたり逆転に成功。関西学院大学を撃破した準々決勝では、FW上田綺世(2年)やMF紺野和也(3年)をベンチに温存しながらも、「交代選手も含めたチーム全体の力で勝てた」と、長山一也監督。また怪我で戦線を離れていたボランチのMF大西遼太郎(3年)が復帰。関学大戦では2得点を挙げる活躍を見せているのも大きい。

同じ関東のチームで、互いに手の内を知った相手との対戦。リーグ戦での対戦成績は1勝1敗で、スコアはともに1-0とまったくの五分だ。相手・長山監督は「名古屋選手や旗手選手のように個の技術の高い選手をいかに抑えてチャンスを作るか」と相手の攻撃力を警戒するが、法大にもU-21代表FWの上田がおり、順大・旗手との「U-21代表FW対決」も見どころのひとつとなる。旗手は「(上田)綺世は綺世。あまり意識せず、自分らしさを出せれば」と言うが、攻撃に特徴のある両チームだけに、前線の決定力が勝負を左右することは間違いないだろう。

駒澤大学 vs 大阪体育大学

12月19日(水) 13:00

文・山川南帆

NACK5

舞台をNACK5 スタジアム大宮に移し、決勝進出を懸けた戦いを繰り広げるのは、駒澤大学と大阪体育大学だ。

8年ぶりにインカレの舞台に戻ってきた駒大は、準々決勝で2年ぶりのインカレ優勝を狙う筑波大学と対戦。駒大のストロングポイントであるシンプルな攻撃がうまく筑波大にはまり、66分に先制。75分に同点に追いつかれるも、そのわずか2分後にMF坂本和雅(4年)が勝ち越し点を挙げた。MF坂本が2得点、そしてMF中原輝(4年/熊本内定)の2アシストと、「4年生が頑張った」と、秋田浩一監督。駒大を支える4年生の健闘を称えると同時に、2人に加えてMF安藤翼(4年)、FW室町仁紀(4年)らの名前を挙げて「4年生の攻撃陣に活躍してほしい」と、期待を寄せた。

対するは、準決勝進出大学のうち、唯一の関西代表となる大体大だ。準々決勝で九州地区第1代表、福岡大学と対戦した大体大は、前半にMF堀内颯人(4年)の豪快なボレーシュートで先制し、この1点を守り切って準決勝へと駒を進めた。しかし、松尾元太監督は「後半は選手のスタミナが切れて、大体大のやりたいことができなかった」と反省点を挙げ、「最後の最後で防いでいるが、それを攻撃に繋げる質を高めていかないと、逆に自分たちが厳しくなる」と駒大戦に向けての課題を指摘した。しかし、ここまで無失点と「DF菊池流帆(4年/山口内定)とDF田中駿汰(3年)のセンターバックコンビが集中した守りを見せている」と守備に自信をのぞかせる。堅守をベースにチャンスを得点につなげたい。

両チームは今季の総理大臣杯の準々決勝で激突している。延長戦の末、この戦いを制したのは大体大。惜敗を喫した駒大の秋田監督は「リベンジしたい」と一言。借りを返すために絶対負けられない。一方、大体大の松尾監督は「駒大は選手一人ひとりの能力が高く、タフなゲームを120分できるチーム」と駒大のテクニックとスタミナを警戒。駒大のパワフルなプレーを抑え込むことができるか。

◆Twitter: @JUFA_soccer

全会場・全試合リアルタイム速報



◇Instagram: @Jufa_Japan

大会期間中の感動の名シーンの振り返り



◆公式HP

www.Jufa.jp

随時、大会情報をお知らせ

